教 科 シ ラ バ ス

教 科 名	英　語	科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	５単位
履修学年	高校部３学年	科・専攻・コース	普通科 大学進学専攻		
教 科 書	**LANDMARK English CommunicationⅢ**	副教材等	教科書準拠ワークブック、予習ノート、Next Stage （桐原書店）		

1. 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な態度を養う。具体的な言語活動は以下の通り。

１．事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

２．説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。

３．聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。

４．聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

２．コミュニケーション英語Ⅲの評価の観点，規準及び評価方法

	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
観点	コミュニケーションに関心を持ち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして，情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに，言語の背景にある文化などを理解している。
規準	「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	情報や考えなどについて，英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 情報や考えなどについて，英語で簡潔に書くことができる。	英語を聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点を捉えたりすることができる。 英語を読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点を捉えたりすることができる。	英語の仕組み，使われている言葉の意味や働きなどを理解しているとともに，言語の背景にある文化を理解している。
評価	a. 授業に対する意欲　b. 発表　c. 課題等の提出　d. 小テスト・定期考査			

３．学習計画及び評価方法等

学期	月	考査範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
前期	4	前期第1回定期試験	Lesson 1 Caffeine: The World's Favorite Drug	<題材内容> ・身近な食べ物・飲み物の多くにカフェインが含まれていることを理解する。 ・カフェイン依存によるとリスクを理解する。 ・カフェインによる効能について聞く。 ・カフェインとの付き合い方について考え、意見交換する。	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a b c d
	5		Lesson 2 Blood Is Blood	<題材内容> ・当時の黒人差別の実態を理解する。 ・ドリューが発見した輸血方法について理解する。 ・黒人差別と闘うドリューの主張を理解する。 ・活動を通じてドリューが証明したことを理解する。 ・キング牧師について聞く。 ・他の高所得国と比べ日本の献血率が低い理由について意見交換をする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d
			Lesson 3 Australia and its Creatures	<題材内容> ・オーストラリア独自の生態系について理解する。 ・特殊な生態系を作り出す 2 つの要因について理解する。 ・厳しい気候に生きる動物たちの習性について理解する。 ・自然あふれるオーストラリアの魅力について理解する。 ・カンガルーの特徴について聞く。 ・自分の町とシドニーとの気候の違いについて書く。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d
	6	前期第2回定期試験	Lesson 4 The $100,000 Salt and Pepper Shaker	<題材内容> ・遊園地で買った品物を落としてしまった兄弟の気持ちを理解する。 ・新品の塩コショウ入れを渡してくれた店員の行動の意味を理解する。 ・店員の行動が遊園地に多大な利益をもたらすことになったことを理解する。 ・ウォルト・ディズニーについて聞く。	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a b c d

	7		Lesson 5 Bilingual Effects in the Brain	<題材内容> ・バイリンガルの人は脳の構造が違うという論文の内容を理解する。 ・音に対する脳の反応を調べた実験内容を理解する。 ・2言語以上話せることが脳に与える良い影響について理解する。 ・バイリンガル能力は赤ん坊のときから育つことを理解する。 ・英語の特徴について聞く。 ・ヨーロッパの国々ではバイリンガルの割合が高い理由について意見交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d
			Lesson 6 Communication without Words	<題材内容> ・コミュニケーションの 7 割をボディー・ランゲージが占めることを理解する。 ・ボディー・ランゲージは国や文化によって違うことを理解する。 ・海外の人と理解し合うためにはボディー・ランゲージを学ぶことが大切なことを理解する。 ・誤解を防ぐためにも自身のボディー・ランゲージを知ることが大切なことを理解する。 ・コミュニケーションにおける目の役割について聞く。 ・自分の comfortable zone について意見を交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d

《課題・提出物等》ワークブックの問題などを課題として出す。

《前期仮評価の評価方法》

1．評価対象： a. 授業に対する意欲　b. 発表(内容・態度)　c. 課題等の提出(内容・態度)　d. 小テスト・定期考査

2．評価配分： a. 授業に対する意欲 30%　b. 発表 20%　c. 課題等の提出 20%　d. 小テスト・定期考査 30%

前期	8 9	前期末試験	Lesson 7 Political Correctness	<題材内容> ・差別や偏見のない用語を使うことが推奨されていることを理解する。 ・だれにも不快感を与えない用語を使うことの難しさについて理解する。 ・行き過ぎた用語制限に潜む問題を理解する。 ・正しい用語の使い方は次の世代にかかっていることを理解する。 ・ポリティカル・コレクトネスについての意見を聞く。 ・ポリティカル・コレクトネスについて意見交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d

			Lesson 8 Animal Math	<題材内容> ・動物には生来，数学的な能力が備わっていることを理解する。 ・イヌはボールまでの最短距離を計算できることが実験からわかったことを理解する。 ・霊長類は数の違いを理解していることが実験からわかったことを理解する。 ・動物は自然界で生き残るために数学を用いてきたことを理解する。 ・高い学習能力をもつ馬について聞く。 ・日常生活において数学が便利だと感じる場面について意見交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d

《課題・提出物等》ワークブックの問題などを課題として出す。

《前期末評価の評価方法》

1．評価対象：　a. 授業に対する意欲　b. 発表(内容・態度)
c. 課題等の提出(内容・態度)　d. 小テスト・定期考査

2．評価配分：　a. 授業に対する意欲 30%　b. 発表 20%
c. 課題等の提出 20%　d. 小テスト・定期考査 30%

学期	月	考査範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
後期	10	後期第1回定期試験	Lesson 9 The Story of My Life	<題材内容> ・サリバン先生の教育方法について理解する。 ・「愛」について尋ねるヘレンの心情を理解する。 ・サリバン先生が教える「愛」について理解する。 ・「愛」を理解したヘレンの心情を理解する。 ・ヘレン・ケラーの功績について聞く。 ・「愛とは何か」という質問に対する答えについて意見交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d
			Lesson 10 Extinction of Languages	<題材内容> ・世界で半数の言語が消滅の危機にさらされていることを理解する。 ・言語が消滅するスピードが年々早まっていることを理解する。 ・言語の消滅とはアイデンティティの消滅でもあることを理解する。 ・言語の消滅を防ぐために人々が行っている取り組みについて理解する。 ・アメリカの少数言語について聞く。 ・少数言語を守るべきかディスカッションを行う。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d
	11		Lesson 11 Learning a First Culture	<題材内容> ・子どもたちは大人との接触によって社会性を身につけることを理解する。 ・社会性を身につけるまでの過程には，生まれついた文化が深く影響することを理解する。 ・日本，欧米，カルリ族の文化の違いについて理解する。 ・成長した子どもは文化を離れたコミュニケーションを図るようになることを理解する。 ・他人との物理的距離について聞く。 ・社会で生きていくために家庭や学校で学んだことについて意見交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d

学期	月	考査範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
後期	12		Lesson 12 Light Pollution	<題材内容> ・人間は夜も活動できるように人工の光を生み出してきたことを理解する。 ・人工の光により，夜の暗さが失われてしまったことを理解する。 ・人工の光が鳥やウミガメの生態に影響を与えていることを理解する。 ・人工の光が人間の生体リズムにも影響を及ぼしていることを理解する。 ・夜空の星について聞く。 ・明るい夜と暗い夜のどちらを好むかについて意見交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d
	1		センター試験対策	・センター試験過去問題・模擬問題にて実力錬成を行う。 （リスニング・語彙・文法・読解）	○	○	○	○	a b c d

《課題・提出物等》ワークブックの問題などを課題として出す。

《学年末の評価方法》

1．評価対象：　a. 授業に対する意欲　b. 発表(内容・態度)
　　c. 課題等の提出(内容・態度)　d. 小テスト・定期考査

2．評価配分：　a. 授業に対する意欲 30%　b. 発表 20%
　　c. 課題等の提出 20%　d. 小テスト・定期考査 30%

※年間を通してセンター試験過去問・模擬問題に継続的に取り組み，実力養成に継続的に取り組む。
上記及び関連内容を試験範囲として活用する。